JC PRESS

Junior Chamber International Haramatchi's annual magazine

南相馬市・飯舘村の青年経済人で構成する「一般社団法人 原町青年会議所」が
今年一年間行ってきた活動・運動をご報告する広報誌です

JCI™

一般社団法人 原町青年会議所

1

福島ブロック大会

Fukushima Block Competition

故郷について語る東国原氏と桜井市長

たくさんの市民が訪れた「笑顔のひろば」

盛大に行われた記念式典

年に一度、県内19の青年会議所（JC）メンバーが集い運動を発信する「第46回福島ブロック大会in原町」を、7月2日と3日の二日間、南相馬市原町区の市民文化会館ゆめはっと、野馬追通り銘醸館、サンライフ南相馬の三会場で開催しました。

「明日へかけだそう！笑顔が咲き誇る『ふくしま』へ！」を大会スローガンとし、子どもたちの明日（未来）へ向けた、明るい未来を発信する大会となりました。

【大会前日（7月1日）】

●南相馬市長表敬訪問

大会に先立ち、福島ブロック協議会の石田全史会長と、当会議所の谷田部真敏理事長が市役所を訪ね、桜井勝延市長を表敬訪問しました。

桜井市長からは大会への期待と歓迎する挨拶を頂いたほか、石田会長より大会開催にあたってご協力をいただいた御礼を述べ、大会の概要を伝えるとともに様々な意見交換を行いました。

【大会一日目（7月2日）】

●大会成功祈願祭

二日間の大会成功を祈る「大会成功祈願祭」を、三嶋神社にて執り行いました。福島ブロック協議会役員と原町JCメンバーが、大会スローガンである「明日へかけだそう！笑顔が咲き誇る『ふくしま』へ！」と導く大会の成功を祈願しました。

●お祭り「笑顔のひろば」

市民に広く参加いただくお祭りを、野馬追通り銘醸館にて開催しました。会場内にはグルメブースを設け、小高区で営業していた「おだかのひるごはん」が限定復活したほか、県内各地の名産品を販売しました。またステージでは、原町一小の九曜太鼓の演奏や、ヒップホップダンスチーム「Ｊｏｌｉ Ｊｏｌｉｅ」のダンス、プロけん玉師やマジシャンのパフォーマンスが行われ、約６００名の来場者を盛り上げました。

●アカデミー委員会政策発表会

県内各地のJC若手メンバーによる政策発表会を、サンライフ南相馬にて行いました。福島の明るい未来を創造するために独創的な政策を発表したほか、お越しいただいた県庁復興・総合計画課の職員、南相馬市役所復興企画課の職員から講評をいただきました。

【大会二日目（7月3日）】

●音楽祭「ひびけ！希望の明日へ！」＋未来へつなぐプロジェクト～音楽のちから～

近隣合唱団体が一堂に会する音楽祭を、市民文化会館ゆめはっとにて開催しました。出演したのは、ＭＪＣアンサンブル、ゆめはっと合唱団、南相馬市立原町一小合唱部、相馬市立桜丘小合唱部の４団体と、シンガーソングライターの川嶋あいさんです。約６００名が来場し、「音楽のちから」を使った地域再興を発信しました。

●対談「東国原英夫氏×桜井勝延氏」

『笑顔が咲き誇る「ふくしま」へ～幸せの意味・誇りを持ち愛郷心を育み明日を生きる～』

東国原英夫元宮崎県知事と、桜井勝延市長による対談を、同会場にて開催しました。約１，０００名が詰めかける中、福島（ふるさと）に誇りを持つことについて、それぞれの考えをお話しいただきました。

●記念式典

県内各地のJCメンバーが集う式典を同会場にて開催し、来賓らと合わせて約５００人が参加しました。内堀雅雄知事をはじめ、法務大臣、国会議員、県議会議員、市村議会議員、各地元団体を招き、厳粛かつ盛大な式典となりました。

2

事業報告

Project Report

第5回 野馬追の里南相馬

子どもたちが描く

ふるさと絵画展

Furusato painting exhibition of children draw

相馬野馬追を子どもたちの絵画で全国へPRする

第5回野馬追の里南相馬 ～子どもたちが描くふるさと絵画展～

南相馬市内の小学4年生から6年生が描いた「相馬野馬追」をテーマとする絵画展を、9月16日から22日までの一週間、イオンスーパーセンター南相馬店で開催しました。夏休みの宿題として募集した絵を展示したもので、今年は約400点の絵が集まりました。地域の伝統文化である相馬野馬追を、子どもたちの視点で創意工夫をこらして描いた作品は、地域の希望にあふれるものとなりました。

また最終日には、店内フードコートにて表彰式を開催しました。阿部貞康南相馬市教育長、画家で審査委員長を務めた朝倉悠三先生を来賓に迎え、受賞した60名（大賞3名、金賞18名、銀賞39名）のうち48名の子どもたち、保護者、関係者に出席いただき、盛大に開催することができました。

その後は広島市を走る路面電車の車両1両に、子どもたちの絵画を展示する全国展を、9月26日から10月9日までの二週間開催しました。広島青年会議所の協力を得て開催したもので、車内に入賞した絵画60点を展示しました。

広島の路面電車は、原爆による壊滅的被害を受けながらも3日後に運行を再開し、地元では復興の象徴とされています。平和と繁栄を祈念する当地域の相馬野馬追に通じるものがあり、路面電車に乗る市民や観光客にご覧いただけました。

広島市で行われた絵画展全国展の様子

日本の国技に触れ合う

第22回 わんぱく相撲原町地区大会

毎年恒例の子どもたちの相撲大会「第22回わんぱく相撲原町地区大会」を、5月29日に開催しました。

今年は女子11名を含む47名の子どもたちが参加し、近年参加がなかった飯舘村の子どもたちにも参加いただくなど、大いに盛り上がりました。

この大会は、両国国技館で行われる全国大会の予選会も兼ねており、原町場所を勝ち抜いた子供たちが、福島ブロック会津坂下大会にて、両国国技館への切符を賭けて、熱戦を繰り広げました。その中でみられた子供たちの「相手に立ち向かう姿」「礼節」「他者への思いやり」には、目を見張るものがあり、精神的な成長をみることが出来たことは、勝利以上の価値を感じた場面でした。

残念ながら、今年は全国大会への出場は叶いませんでしたが、相双相撲連盟が選手育成のために創出した「こども相撲クラブ」にて、全国大会を目指し、厳しい練習を積んでいます。引き続き、子供たちへのご声援をお願いいたします。

地域の魅力を伝える

私たちにできる地域発信～ソーシャルメディアで世界へ伝える～

フェイスブックなどのソーシャル・ネットワーキング・サイト（ＳＮＳ）を使い、地域の魅力を発信していく方法を学ぶセミナーを、５月13日に市民文化会館ゆめはっとにて開催しました。

講師として、（株）ソーシャルメディア研究所の熊坂仁美代表取締役を招き、市民の皆さまに発信の手法などを学んでいただきました。熊坂氏は震災後、福島県民の元気な姿を世界に発信する動画「ＨＡＰＰＹ～福島版～」を作成しており、動画投稿サイト「ＹｏｕＴｕｂｅ」では全世界での再生回数が百万回を超えている、福島の魅力をＳＮＳで発信する第一人者です。

当日は約20名の市民が参加し、これまでの活動を基に、公開した動画のＳＮＳでの反響や、海外からの観光客を県内に呼び込むことの重要性を訴えました。

セミナーの終わりに熊坂氏は「地域の隠れたストーリーを発掘し、それを様々な形で発信していくことが大切。ネットの情報に頼らず、自分の足で見つけた『地域の魅力』を探し、それを発信し続けてほしい」と話し、参加者はメモを取るなどして熱心に耳を傾けていました。

有権者の政治に対する参加意識を高める

立候補予定者による飯舘村長選挙公開討論会

当青年会議所のエリアである飯舘村長の任期満了に伴い、立候補予定者２名による公開討論会を、10月２日に飯舘村交流センターで開催しました。

有権者が両候補の考えを聞き、政治への参加意識を高めるために開催したもので、当日は１５０名にのぼる有権者に来場いただきました。

飯舘村は原子力発電所事故により全村避難を余儀なくされており、来年３月末に、帰還困難区域を除き避難指示が解除される予定となっています。公開討論会では、避難指示の解除そのものが争点となることを見据え、避難指示区域の解除時期の是非、除染の範囲の拡大と継続の是非、東京電力に対する補償の継続の是非、医療費の無償化の継続の是非、教育機関の再開時期の是非、村の支援策、放射線に関する健康問題、今後の村の主要産業、帰還する方と帰還しない方に対する具体的支援、飯舘村の将来のビジョンなどについて、中立かつ公正なコーディネーターのもと、立候補予定者による討論を行いました。

また、当会議所にて公開討論会の一部始終をビデオ撮影し、立候補予定者の承諾を得て、ｅ－みらせん（ＹｏｕＴｕｂｅ）にもアップし、広く有権者の皆様に閲覧できる機会を作りました。

3 対談「咲かせよう！明日への希望」

飯舘村長
菅野 典雄

（一社）原町青年会議所理事長
谷田部 真敏

震災から五年が経ち、私たちの住むこの地域は、多くの問題に直面しています。そんな中で、私たち青年が「明日への希望」を咲かせるためにエリアでもある飯舘村の菅野典雄村長と対談を行いました。

谷田部「先日は村長選挙での再選、おめでとうございます。本年、私は『咲かせよう！明日への希望』をJCのスローガンとして活動しました。エリアである飯舘村も復興道半ばではありますが、これからを生きる人間として前を向いて強く歩むというところをテーマにお話を伺いたいと思っています」

菅野「まず今回の原発事故に遭い、飯舘村は被害者であるという立場にとらわれず、復興にあたっては国や東電とお互い対等の立場というスタンスで復興に取り組んできました。愚痴を言ったところでなんの解決にもならない。ていう前向きに、どのようにして村を復興させをしいくか、場合によっては逆手に取る考え方いかた方が、よい復興の形が見えるのではなと思っています」

谷田部「来年は避難指示も解除となります。私たち次代を担う青年が地域に戻ってきて、懸命やっていかなければ、行政だけではい面もありますよね」

菅野「今回は放射能災害の特異性から、若いが帰れない・帰らないという判断をしてる人も多いです。村としてはそれも人それの判断と認め、承知の上でやっていかなはいけない。元に戻らないからダメだと固定的な考え方では、答えは『ゼロ』になりません。元に戻らないなかでどうすいいか考えると、答えは二つ三つと出てる。柔軟に事にあたっていくことが大切で。心配してないというと語弊がありますが、楽観的な中から答えを出していくという、いい方向性になってくるのではないでしょうか」

谷田部「私も似たような考えです。マイナス面ばかり見ていても仕方がない。原町も震災時の状況はひどかったのですが、一方的に行政に求めたり批判するのでは何も生み出さない。むしろそれでは復興の足かせになるという議論もJC内でありました。私たちは行政にできない部分を、一歩一歩やっていけばいいと思っています」

菅野「後ろ向きな人・前向きな人、いろいろな人がいますが、行動が伴ってくれると私たちとしては大変助かります。少しでも自分にできることをしてほしい。そういう面で、原町JCの活動は素晴らしいと思いますよ」

谷田部「先日も飯舘村長選挙にあたって公開討論会を実施しましたが、村長の話した中で一番心に響いたのが『いつまでも頼ってはいられない、頑張る人のために何かを作っていく施策を作りたい』という言葉でした」

菅野「帰る人・帰らない人はいますが、他の土地に住んだとしても故郷がなくなっていいわけではありません。現場で頑張る人たちに、手を差し伸べることが必要です。国・県・東電にも支援を求めていきますが、すべてに事業や資金が行き渡るというわけではありません。したがって、村としては制度で手が届かないところは、例えば『陽はまた昇る基金』を作っていますので、住民から出た要望などに沿って、必要なところに使っていくことなども考えています」

谷田部「大変な部分は多いですが、もともと震災前から多くの問題に直面していたと思うのです。それが震災で浮き彫りになったという話で。私たちの地域だと国などと話ができるので、解決のチャンスが潜んでいると思います。それが冷める前にできることをやっていきたいですね。

最後になるのですが、これからの時代を担う青年たちや飯舘村の若い人たちにメッセージがあれば聞かせてください」

菅野「人生はたった一度、そして人生に自動ドアはないということでしょうか。今はどこに行っても自動ドアが開く時代ですが、人生のドアだけは自分で開けるしかないですから。それが若者の特権です。二つの道があった時に、楽な方を求めるのではなく、大変な方を選択して進める、挑戦するという姿勢をより望みたいですね。青年会議所の皆さんもいろんなことに挑戦して、思うようにいかなくてもそれを肥やしにしていってほしいですね」

谷田部「楽な立ち位置ではなく、困難でも自分たちで扉を開いていくということですね。今日はお忙しいところ、ありがとうございました」

菅野「ありがとうございました」

4 その他の主な取り組み

2016 monthly

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

1/26 定時総会
2/13 新年会
3/6　南相馬市社協 HUG 訓練

4/29　春の市民まつり

5/19　会員セミナー 森本勝也先輩講演会

9/25 市総合防災訓練
9/6　中間事業報告会
11/22 復興シンポジウム
12/2　未来に向けて今私たちができることセミナー

7/18　駅前通り清掃活動

7/23　こどもみこし

8/11　追悼福幸花火
8/13　オカエリ夏祭り

5 2017年度体制

監事	監事	理事長	直前理事長
林 洋平 (株)メイワ	森岡 宏二 土地家屋調査士 森岡事務所	森岡 和人 森岡歯科医院・ベースラボ	谷田部 真敏 (株)やまさん

専務理事	事務局長
安川 徹 青葉幼稚園	渡邉 光貴 (株)タカワ精密

副理事長	副理事長	副理事長	副理事長
高橋 良輔 (株)高良	西山 健司 ひばり法律事務所	吉田 文彦 (有)トラスト	岡崎 由佳 (有)岡崎造花店
			統一事業推進室

	総務広報委員会	ひとづくり委員会	未来創造委員会	まちづくり委員会
委員長	大橋 正幸 (株)大橋建設	渡部 朋彦 文化住宅機器(株)	大塚 俊介 (株)協心 / BistroBar 我流	和田 智行 (株)小高ワーカーズベース
副委員長	風越 準平 JAふくしま未来	目黒 道崇 三嶋神社	樋口 徹 エーバイクス(株)	小林 正人 らしんばん
幹事	坪井 大介 (株)東邦銀行	松本 亮真 まつもと司法書士事務所	佐藤 義幸 あぶくま信用金庫	中橋 正道 (有) 藤原新聞店
委員	齋藤 祥市 (資)ニューさいとう	鎌田 武仁 昭和運輸(株)	泉 景子 しいたけ農業	草野 良太 (有)ダンセンエフワン相馬店
	田村 洋明 司法書士田村洋明事務所	志賀 瞬 サウンドファクトリースタジオ	大須賀 優 福島民報社	佐藤 晃大 京大個別会
	長岡 貴志 (株)大内屋	田中 一秀 (株)シンコー	岡田 祐司 メイクサイン	田林 信哉 南相馬市役所
	三品 太 (有)三品電設	渡邊 久男 福島民友新聞社	木幡 裕也 (有) コワタコーポレーション	但野 謙介 但野・安田コンサルティング事務所
			武藤 政彦 おそうじ本舗 / ムトウコーポレーション	

6

原町青年会議所からお知らせ

Reports from Haramachi JC

第48代 理事長予定者

森岡 和人

森岡歯科医院
ベースラボ 代表

東日本大震災から５年が経過し「復旧」から「復興」へ徐々にステージが移りつつある当地域において我々若者に今必要とされる事はなんでしょうか。困難な状況に立ってこそ「英知と勇気と情熱をもって取り組む覚悟」だと私は考えます。

わが地域の歴史を紐解いてみると「天明の飢饉」によって人口が三分の一に激減した記録があります。まさに地域消滅の危機を打開したのが「報徳仕法」であり二宮尊徳の教えでありました。江戸時代の飢饉と震災による原発事故は容易に同じ災害として考えらないものではありますが「困難な状況」として克服すべき課題であることには違いはないと考えます。この地域を担う者として、そして子供たちに語り継いでいく世代として「報徳の精神」を改めて学び活動に活かしつつ、地域の歴史と文化に根差した「復興」のビジョンを提示、共有し実現させて参ります。

今日まで我々を育んでくれた多くの先達のように私達も汗をかき知恵を出し合い、士気高く行動して参ります。これからも我々原町青年会議所の運動に対しまして、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い致します。

第47代 理事長

谷田部 真敏

株式会社やまさん
代表取締役

本年は「咲かせよう！明日への希望」をスローガンに掲げ、震災から５年が経過した、当会議所エリア（南相馬市・飯舘村）において、希望あふれる未来を創造すべく各種運動を展開して参りました。

本年は、前回開催から１７年ぶりとなる公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会主催の「福島ブロック大会ｉｎ原町」を、７月２日３日に渡り当会議所が主管となり開催させて頂きました。当日は多くの市民の皆様にご参加頂き「笑顔のひろば（まつり）」や東国原氏と桜井南相馬市長との対談を無事盛大に開催することができ、「市民一人ひとりが愛郷心を育み、明日を強く生きる」というテーマを多くの皆様に感じて頂けたものと確信しております。

いつの時代も、地域の未来を創り上げていくのは、責任世代である青年の役目です。志と理想を高く持ち、失敗を恐れずに行動すること。明るい豊かな地域社会の創造を目指し、我々は、これからも運動を休むことなく展開して参ります。

文末にあたり、ブロック大会を始め、当会議所の事業開催に対し、多くの関係各位の皆様方に、深いご厚情とご協力を賜りましたことに、心より深く御礼を申し上げます。

卒業生

前田 和則
（株）山二警備保障
専務
2008年入会

鈴木 慎太郎
浜通り社会保険
労務士事務所
2014年入会

杉内 亜希
（有）杉内自動車整備工場
取締役
2001年入会

佐藤 基行
BOND設計事務所
代表
2008年入会

栗原 辰尚
（有）グレーダー施工
取締役専務
2004年入会

新入会員（５０音順 仮会員含む）

坪井 大介
東邦銀行

田村 洋明
司法書士田村洋明事務所
代表

田林 信哉
南相馬市
副市長

田中 一秀
（株）シンコー
取締役

志賀 瞬
サウンドファクトリー
スタジオ

岡田 祐司
メイクサイン

大橋 正幸
（株）大橋建設
総務課長

渡部 朋彦
文化住宅機器（株）
専務取締役

武藤 政彦
おそうじ本舗
ムトウコーポレーション代表

三品 太
（有）三品電設
専務取締役

樋口 徹
エーバイクス（株）
執行役員

中橋 正道
（有）藤原新聞店
専務取締役

【新入会員募集】
南相馬市及び飯舘村に住所または勤務先を有する、年齢が満20歳以上40歳未満の青年で、青年会議所運動をするのに支障のない条件を備えていること。

【お問い合わせ】
一般社団法人 原町青年会議所
ＴＥＬ：０２４４(２３)５５２０
※入会申し込みに関して、ご不明な点やご質問等はお気軽にお問い合わせください。

協賛企業
Sponsors

私たちが使う身近な製品の生産ラインを
部品製造でサポートします
シンコー
SHINKO CO.LTD.
事業内容
自動台方機械メカユニット生産・精密工具・金型部品．設計．製造．組立
本社 福島県南相馬市原町区北原赤坂 94
生産本部・第一工場 福島県南相馬市原町区北原赤坂 129
TEL 0244-22-4682 FAX 0244-24-4810

「農業復興の為に」
しいたけ農業
泉 景子
〒979-2143
福島県南相馬市小高区蛯沢字無入 54-1

らしNばん
広告 / 印刷物 / 映像
制作・コンサルタント
らしんばん 代表：小林正人
☎ 090-2791-9045

すべての市民の法的な駆け込み寺
ひばり法律事務所
弁護士 西山健司
一緒に解決しましょう
震災関連問題・原発賠償に対応します
TEL 0244-26-6006
福島県南相馬市原町区西町 1-6-10
URL http://hibari-law.com/

株式会社大橋建設
土地造成工事などの土木一式工事から
舗装工事、外構工事、解体工事まで
あらゆるニーズにお応えいたします。
〒975-0034
南相馬市原町区上渋佐字原田 88 番地
TEL（０２４４）２２－３８７４（代）
FAX（０２４４）２４－５４７５

健康な歯で楽しい食事を
森岡歯科医院
〒975-0006 福島県南相馬市原町区橋本町 1-107
TEL ：0244-24-0814
ベースラボ
〒975-0006 福島県南相馬市原町区橋本町 1-107
TEL : 0244-26-3225

名刺入れサイズのフラット靴べら
ノベルティ
記念品
べら丸
TAKAWASEIMITU CO., LTD.
株式会社タカワ精密
http//www.takawaseimitu.co.jp/

リサイクルで社会に貢献
SINCE 1913
TAKARYO
株式会社 高 良
〒975-0071
南相馬市原町区深野入龍田 117-7
☎ 0244-22-7111

Reliance is Created with Technology.
―― 技術で信頼を創り出す。
社員募集中
株式会社メイワ
meiwa CO.,LTD.
福島県南相馬市原町区上太田字陣ヶ崎 140 番地 22
TEL 0244-23-5195 FAX 0244-23-1905
URL http://www.meiwa-net.co.jp

Odaka Worker's Base
地域の課題から
ビジネスを創出し続ける
株式会社
小高ワーカーズベース
〒979-2121 南相馬市小高区東町 1-37
TEL&FAX/0244-26-4665 http://owb.jp

土地家屋調査士
森岡宏二事務所
〒975-0007 南相馬市原町区南町 1-99
TEL. 0244-22-4537 FAX.0244-22-5779

yamasan
since 1947
フルーツのある暮らし
Life with Fruit
株式会社やまさん 福島県南相馬市原町区大町 2-10 TEL：0244-23-2367 info@fruits-yamasan.com

定期点検整備・一般整備・鈑金塗装・車検整備・各種自動車販売
民間車検場
有 杉内自動車整備工場
イワキ太田駅前（高字大豆柄 10） TEL.22-1025 FAX.24-1375
オートファクトリー杉内（北原字中谷 91-1） TEL. 23-3399 FAX.23-6864

BOND設計
代表取締役 佐藤基行
〒975-0008
南相馬市原町区本町 1-31-2D
TEL 0244-26-7026
FAX 0244-26-8036
建築士事務所登録 福島県知事登録 第 27（805）0704 号
建設業許可 福島県知事許可（般 -28）第 31232 号

街の保険屋さんだからできること
有限会社 トラスト
〒975-0032
福島県南相馬市原町区桜井町 1-261
TEL 0244-23-0802(0803) FAX 0244-25-5631

地域の安全を見守る
株式会社 山二警備保障
年中無休 24時間営業体制
■本社
〒975―0021 南相馬市原町区金沢字前田166番地
TEL(0244)26―1888 FAX(0244)26―1889

原町鎮守
三嶋神社

不動産、美容室、ネイル、エステマッサージ
株式会社 協心
〒975-0003 南相馬市原町区栄町 1-81
TEL. 0244-26-8224
FAX.0244-26-8225

おかげさまで
創業 43 年
住宅・水廻りリフォーム専門店
文化住宅機器㈱
〒975-0014 南相馬市原町区西町1-97
TEL 0244-24-3131(代)
併設 / 文化住宅機器㈱一級建築士事務所
文化シャッター㈱原町店
http://www.bunka-j.com

京大個別会
原町校
南相馬の子どもたちの
「人生を変える」学習塾
26－4222

貸衣裳 大内屋
福島県南相馬市原町区栄町３－５７
☎ 0244 24－3221(代)
FAX 0244 22－1157

毎日新聞・福島民報・朝日新聞
取扱店
㈲藤原新聞店
南相馬市原町区旭町 3-30
TEL 0244-22-2515

ハウスクリーニングの全国チェーン
おそうじ本舗
南相馬店
お気軽にお電話ください！
☎0800-800-5621
南相馬市原町区北町 341-91

たんぽぽの花のように つよく、やさしく、たくましい子をめざして
青葉幼稚園
〒975-0005 南相馬市原町区二見町 3-68-4
TEL.0244-23-3306 FAX.0244-24-3011

システム開発 / 経営コンサルティング
広告制作 / 各種デザイン / ソフトウェア開発
A-BIKES Co.,Ltd.
エーバイクス株式会社
TEL/FAX ： 0244（26）3160
WEB ： http://www.joban.co.jp/

MinamiSoma
IT Consortium
南相馬 IT コンソーシアム
アプリ開発 /WEBデザイン / システム開発
〒975- 0008
南相馬市原町区本町 1-31 四葉ビル 1F
[tel] 0244(26)7773 [web] http://msitc.jp/

葬儀、返礼品、会葬御礼葉書
仏具、慶弔花環、灯籠、提灯
供物各種、各種御法要
有限会社
岡崎造花店
〒975-0018
福島県南相馬市原町区本町 1-125
TEL 0244-23-3774
FAX 0244-22-1201

一般社団法人原町青年会議所

事 務 局 ： 〒975-0001 福島県南相馬市原町区本町2-55-1
T E L ： 0244(23)5520
F A X ： 0244(24)5520
M A I L ： jc450@feel.ocn.ne.jp
U R L ： http://www.jc450.com/

JC PRESS
発行元：一般社団法人 原町青年会議所 2016 年度 総務委員会 JC プレス編集部
平成 28 年 12 月 11 日発行